



つばさ

多摩市立聖ヶ丘小学校
特別支援教室 つばさ
令和6年12月25日
つばさだより 第11号



「今年も早いもので」というのは大人の時間感覚なんだろうなと思いつつも、年末に入っていきます。ただ、ここまでの時間は子供たち（ご家庭とともに）がたくさんの成長をしてきた時間でもあります。後期前半のこの時期、子供たちとは自分の「成長」について話しをしたり、まとめたりしています。今回はそんな成長を各学年で簡単にまとめていきます。

各学年の成長

1年生…ついこのあいだ小学生となり、教室という「社会」にデビューしました。自分の感覚や周囲の状況の理解など、全部が「え?」となることも多かったと思います。小集団指導の中で少しずつ「社会」の枠組みを知り、たくさんの先生と自分なりの学校生活を作りました。今後の成長が楽しみです。

2年生…小集団指導では、自分だけの世界から少しずつ「仲間」としての意識が出てきました。「あの子は～なタイプ」「え?そんなこと考えてるの?」等、相手の好みや感覚に違いがあることへの理解が進んだようです。また、相手を意識し、時にぶつかりながらも受け入れていくこと等が各場面で感じられ、仲良く演習や個別学習に取り組む姿がでてきました。

3年生…自分たちはの、「つばさ教室」での課題は何だろう?個々の振り返りや小集団での指導を通して少しずつ自分の課題にも気が付いていく。そんなきっかけとなる学びがあったとも思います。

4年生…3年の時の「課題」が少しずつできるようになってきたという事を一緒に確認できる場面もありました。気持ちを切り替えて教室で授業を受ける、自分で気持ちを調整しようとする事をつばさで学び、「教室」に少しずつ参加できるようになったという成長も見せた児童もいる4年生でした。

5年生…小集団指導でのテーマトークで自分の意見をみんなへ伝え、相手の意見にしっかり反応したり共有できたりすることが増えました。お互いのこと、教室での立ち位置、これまで自分のことだけに精いっぱいだった所に、少し余裕をもって周りを見ることができてきたのではないかと思います。

6年生…中学校という現実的な進路が見え始めた6年生。これまでの自分の学校生活を振り返りながら今の自分の「課題」について考えています。高学年になった今だからこそ、振り返ることのできる、各場面や相手への気持ち、より具体的な状況の理解も少しずつできることが増えてきたと感じます。

この時期になって感じるのは、子供たちの成長は本当に個々によって「異なる」というものです。学年ごとの成長場面として短文にまとめましたが、一人一人の成長の速さや課題は当然ちがいます。学校、学年、クラスでは良くも悪くも平均的な成長のリズムが求められますが、彼、彼女らの「個々」の成長を今後もクローズアップしつつ来年に向かっていきたいと思っています。

師走を迎えます、安全、健康に気を付け、良いお年をお迎えください。

